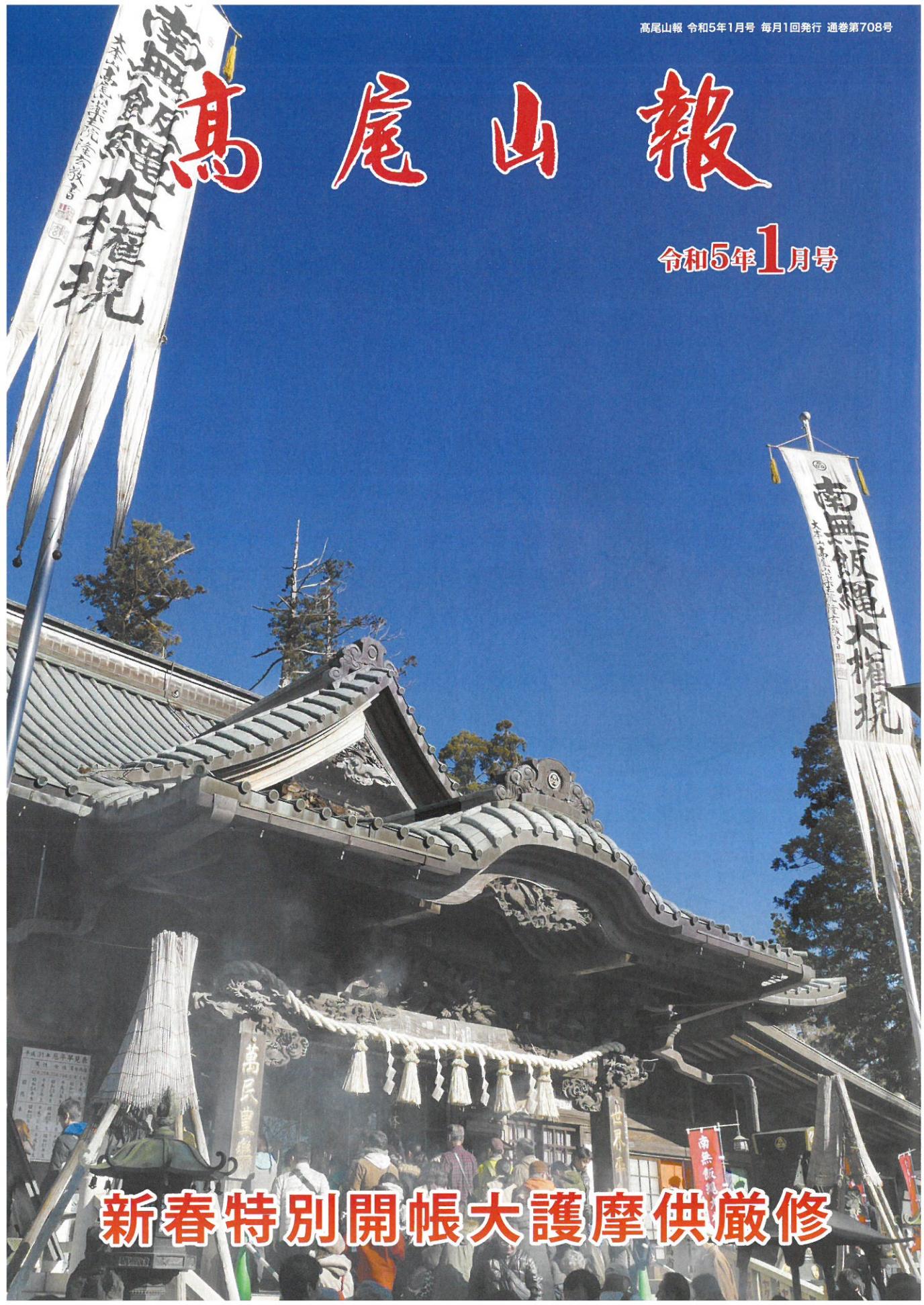


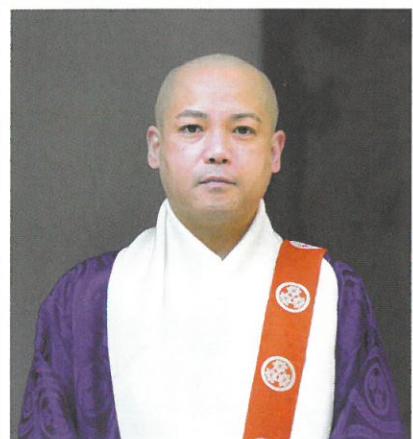
# 高尾山報

令和5年1月号



新春特別開帳大護摩供嚴修

明けましておめでとうございます



執事  
深田 洋平



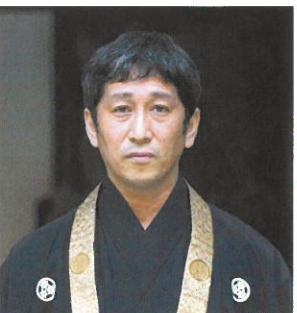
執事長  
犬山 秀康



前貫首  
大山 隆玄



用度部長  
山本 憲佳



庶務部長  
藤田 健太郎



総務  
原田 明仁



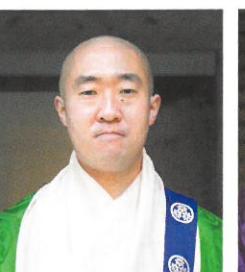
法務部長  
上村 公昭



用度課長  
大山 文武



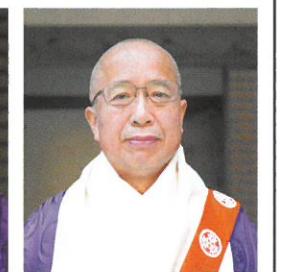
参事  
佐藤 伸二



教務課長  
杉山 宗聖



法務次長  
桑名 善光



参事  
堀江 承豊

交通安全祈祷殿  
高尾山修験道

蛇滝水行道場  
高尾山報編集室

琵琶滝水行道場  
山内職員一同

令和5年 年頭所感

# 心の修練

大本山高尾山薬王院 中興第三十三世 貫首 佐藤秀仁



明けましておめでとうございます。  
御信徒の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎え成されました事と心よりお慶び申し上げます。

旧年を回顧致しますと、長引く不況に加え感染症の問題に収束の見込みがつかず広く外国では惨い争いごとが絶え間なく続き我が国内に於いても常識では考えつかぬ事件事故が頻発

し、まさしく内外多事多難といった世情であります。いかに科学や文明が進歩しようとも結局は扱う人の心次第で繁栄する。まさしくそれを象徴するような出来事が多い一年であったかと思います。一刻も早く世に平穏が到来致します事を御本尊様にひたすらお祈り申し上げるのみであります。

こうした不安という暗雲が立ち込める現代

社会に於いて一筋の眩い光となるものが、人達が伝え残してくれた、信仰という行いであります。何やら窮屈ともとれる言葉であります。が、決して難解な事ではありません。信仰とは物事を良い形で判断する心の修練のひとときであります。まず、素直な心でご本尊様の徳を仰ぎ心の拠り所として定める。それに従事され規範が生じ、より自分自身の心がご利益にあやからうとするその前に心に立てた誓いをご本尊様に投影し、さらに念じる事により目標が心中に覚悟され、達成に至る努力へとつながります。

人々が深刻な不安に直面している、こうした時代だからこそ御本

さて、本年は真言宗を開かれました弘法大師の御誕生一千二百五十年に相当致します。今も尚、世の平穏と人々の幸福を願い続けておられる弘法大師の、「み教え」に思いを馳せ今年一年、より良い社会構築の為に精一杯ご精進なさると共に、お健やかに力強くお過ごし頂けます事を心からお祈り申上げ年頭のご挨拶とさせて頂きます。

明けましておめでとうございます。

御信徒の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎え成されました事と心よりお慶び申し上げます。

社会に於いて一筋の眩い光となるものが、人達が伝え残してくれた、信仰という行いであります。

ご信徒の皆様がこよなく親しみご縁の深い高尾山の大自然は、まさに信仰の修行道場であるのです。皆様には是非、この環境を大いにご活用頂きたいと存じます。

ご信徒の皆様がこよなく親しみご縁の深い高尾山の大自然は、まさに信仰の修行道場であるのです。皆様には是非、この環境を大いにご活用頂きたいと存じます。



## 法の水茎

大正大学講師 高橋秀城

(127)

あしひきの  
山の木末の  
ほよ取りて

かざしつらくは  
千年寿くとそ  
(『万葉集』大伴家持)

木々の梢の寄生木を  
取つて、髪に挿したのは、  
永遠の命を祝う心持ち  
からです。

この和歌は、天平勝宝

二年(七五〇)の正月二

日に詠われたものです。

冬を迎えてすつかり葉を

落とした枝先に、丸く

青々として葉を茂らす

「ほよ」(ヤドリギの古

名)の姿が目にとまつた

のでしよう。一年中枯れ

ることを知らない常緑樹

(常磐木)は、古来より強

い生命力を感じさせるも

のとして受け止められて

きました。「鶴は千年、亀

は万年」という言い回し

もありますが、ヤドリギ

を手に取つた大伴家持  
(七一六〇七八五)は、生  
き生きとした活力にあ  
やかつてそれを髪飾りと  
や千歳万代の長寿を  
以上経つた今でも変わ  
ることがありません。

一月二日は、書き初め

の吉日でもあります。言

うまでもなく、書き初め

は新年に初めて毛筆で文

字を書く正月の行事です。

江戸時代の寺子屋など

では、若水で墨をすり、そ

の年の恵方(縁起の良い

方角)に向かつてめでた

歌などを書きました。

長生殿の裏には

春秋富めり

不老門の前には

日月遅し

(『和漢朗詠集』  
慶滋保胤)

君は年齢が若く前途豊

かである。不老門の前で

は、月日の経つのがゆつ

くりで老いを迎えるこ

とがない)

これは、書き初めでよ  
く書かれた漢詩です。長  
代天子の寝殿や不老門  
(洛陽の漢帝の宮門)を  
引きながら、平和な世  
の中が統くことへの祝意  
が詠み込まれています。

子供たちは、こうし

た書き初めの文字を小

正月(一月十五日)まで

とつておき、年神様を見

が送る「どんど焼き」(火  
祭り)の火にくべました。

そして、その燃えがらが

空中に高く上がる

「手が上がる」(字が上

空で達する)といつて喜んだ

とか。ひと文字一文字丁寧に

と達する筆とも言わ

が思ひ起こされます。

弘法大師空海(七七四

年に筆を走らせながら、今

达する)といつて喜んだ

とか。ひと文字一文字丁寧に

と呼ばれる法隆寺の観音像は、制作の時期や場所、目的も不明な点が多い。造られたのが古代と推定されているにもかかわらず、同時代の記録がなく、それが「百濟観音の謎」と言われる要因となつてゐる。法隆寺の宝物を列挙した天平十九年（七四七）『法隆寺資材帳』にも百濟観音に相当する記述がなく、元禄十一年（一六九八）の『和州法隆寺堂社靈驗并佛菩薩

観音菩薩を象徴するこの宝冠が立像の規格と適合したため（前掲論文）、虚空藏菩薩とした江戸期の記録の間違いが明らかになった。

はそのうちの七項を紹介する。

(二) 観音菩薩は『觀音經』に「異国往来の海上の安穩」の救済をすると説かれており、百濟救援のための舟に觀音像が造られ祀られていた可能性がある。

(二) 本稿でも引用した『日本靈異記』に百濟救援のため赴いた越智直が捕虜となるも、自作した舟に觀音像を祀ると無事に日本に帰還できたと

人々のために観音菩薩が造立されていた可能性が指摘され、百済救援には観音信仰が関連していくと推論できる。

(五) 百済仏教は大陸の南朝仏教であり、南朝様式でつくられた百済観音とのあいだに整合性がある。

(六) 百済では観音信仰が盛んで、百済救援を祈るための仏像として観音菩薩像がつくられた可能性がある。

尊像が如来ではなく菩薩であり続けたことにも符合すると推定した。また水軍とともに海外に渡り、日本に帰還したとすれば百濟観音が「百濟國ヨリ渡來」と誤伝された根拠にもなるとした。

前回引用した『日本靈異記』には、船中に祀つた觀音菩薩が水難より人々を救つたことが述べられていた。これについて少々補足説明をしたい。

「百濟を救はむとするに當りて、遣されて軍に到り」とあるのは、天智二年（六六三）、存亡の危機に遭つた百濟を救援するために日本が朝鮮半島に軍を送つたことを指す。なぜこのような事態に至つたのか。それには時代を遡つて当時の日本を取り巻く國際情勢を見なければならぬ。

七世紀の朝鮮半島は、北に高句麗、東南に新羅、西南に百濟の三國が鼎立しており、「後漢書」「東夷傳」などで倭と呼ばれていた当時の日本は、朝

鮮半島の南端に任那日本府という出先機関を有していた。日本と百濟は良好な外交関係にあり、五三八年に日本に仏教を伝えたのも百濟であった。一方、新羅と百濟は敵対しており、その結果、日本と新羅とは友好的とはいえない状況になつた。こうした中、六六〇年、大陸の大國・唐と連合した新羅が百濟に侵攻、百濟は滅ぼされ、百濟の王族の鬼室福信は日本に救援を求めてきた。

はじめに天皇がおいでになり、諸々の兵器を準備なさつた」とあるのがそれである。同書などによれば、六六一年、齊明天皇は中大兄皇子（後の天智天皇）、大海人皇子（後の天武天皇）とともに数万の兵を率いて半島への親征を開始する。親征軍は伊予（愛媛県）の石湯行宮などを経た後、筑紫（福岡県）の朝倉橋、広庭宮に至った。齐明天皇は軍勢と共にそこで七十五日滞在したのち、半島への進軍を果たせぬまま崩御された。

皇太子が即位せずに政務を執ることをいう。皇子の称制により送られた日本軍は百濟の西岸の白村江に到達したが、唐が加勢した新羅との連合軍に大敗した。この戦役が高校教科書などでも広く知られた白村江の戦いである。上述の『日本靈異記』の一説は、この戦いで半島まで出撃した日本人のうち越智直はじめ八人が唐の捕虜となつたが、自作の舟に觀音像を祀つて祈念したところ、無事に帰国できたことを伝えて

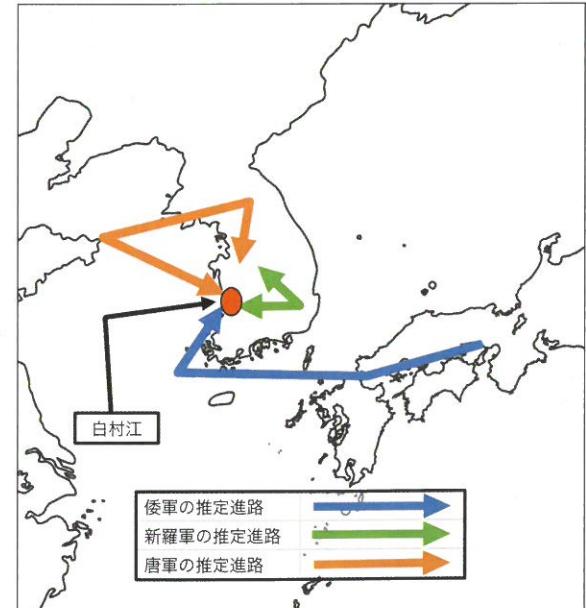
これは『妙法蓮華經』  
「普門品第二十五」すな  
わち「觀音經」の説く觀  
音菩薩が救う七難のうち  
刀杖難（刀劍類による難）  
枷鎖難（捕えられて枷や  
鎖に繋がれる難）とともに  
に、殊に水難からの救い  
を述べた逸話といえる。  
この時の觀音像は「儻トシ  
テ觀音菩薩の像を得て」と  
あり、現地で入手したも  
のと述べられているが、  
一方で百濟に遠征した日  
本軍の舟に今日国宝とし  
て伝わる百濟觀音が祀ら

## 水難と百濟觀音

國際教養大學特任教授 金岡秀郎

## 觀音菩薩の宗教

に「天皇、方隨福信所  
乞之意、思幸筑紫、將  
遣救軍。而初幸斯、備



## 白村江の戦いにおける軍の推定進路

# いけばなの心(35)

華道教授 佐藤 宗明

新年あけましておめでとうございます。

今年は『松竹梅』の生花のご紹介からスタートします。生花正風体の一種ですが、特別な生け方が伝えられている『伝花』の二つです。

池坊でも松竹梅は祝儀の席に単独で生ける事、とされる別格の花として伝えられています。

生け方については竹を前に配置すること以外、固定された決まりはなく、どの花材をどこに配

置しても良いことになっています。この作品は竹と言つても熊笹を体の部分に使用しています。太く真っ直ぐな竹の節がない品となりました。

皆様の一年が健やかで素晴らしい年となりますよう、お祈り致します。

法要の前には一年の汚れを落とすために天狗面の清掃が行われ、JR高尾駅の皆様をはじめ、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、高尾登山電鉄株式会社の職員の方々にお手伝い頂きました。法要に際しては、電車から降りられた方が、次々に足を止められ、共に祈りを捧げました。天狗面は昭和五十三年十月に完成し、高さ一メートル、重さ十八トン、巾十八メートルあり、山梨県産の白御影石を使用しております。

# 天狗面安全祈願法要

十二月十日(土)

**成道会 厳修**  
十二月八日(木)

十八本山参籠(7)

正月参籠  
總本山教王護國寺

吟唱寶號御影堂  
食堂講堂祈金堂  
九種紅印承謹賀  
小雪圓舞寶塔霜

鬼氣迫る 厚木市 荒井 一雄  
如來明王 初薬師

正月、總本山教王護國寺  
(東寺)に参籠る

御影堂にてお大師様の  
ご宝号を唱ふ:  
食堂・講堂・金堂と

九種類の御朱印を正月に  
細雪は白き五重塔に輪舞す:  
謹みて承く:

巡拜す:

九十才を過ぎたなら  
八十才を過ぎたなら  
七十才を過ぎたなら  
六十才の厄年を過ぎたなら  
一年・一年を  
御信徒の皆様へ

九十才を過ぎたなら  
八十才を大切に  
七十才を過ぎたなら  
六十才の厄年を  
一年・一年を  
御信徒の皆様へ

いろは 天狗の落し文(24)

う 噂話や 愚痴話など  
身にならぬこと  
遠のける

良くも悪くも他人のことについて噂話をしたり、愚痴を吐いたりしたことがない人は、まずいないでしょう。しかし、噂話や愚痴話をしても実際には何の意味がないもので、話をしているその時は良いかも知れませんが、結果的には自分を含めてよいことは起こりません。噂により友人関係がダメになる場合や、仕事が上手くいかなくなる場合もあるでしょう。ただ、そうだとわかつていても、会話する中でそんな話は出できます。推測に過ぎない願望、信憑性が全くない噂話や愚痴話などです。人生は有限です。益体もない話に拘らず、自分の生きる道、目的を見つけて集中することを心がけてみましょう。

自分が志したこと集中していれば周りの事など目に入らなくなり、噂話のような雑音が気にならなくなることでしょう。

この尊い日には、毎年成道会という法要が営まれております。十二月八日に、高尾山上の有喜苑仏舎利塔において、成道会が厳修されました。お釈迦様が三十五歳の十二月八日に、菩提樹の下で悟りを開いて、仏陀(仏様)となられたことを成道といいます。

この尊い日には、毎年成道会と申します。

福壽圓滿の御護摩をお申し受け致しております。

(身体健全)を祈念して(寿命長久)を祈念して

当山では皆様の圓満にお暮し下さい

日々を大切に

九十才を過ぎたなら  
八十才を過ぎたなら  
七十才を過ぎたなら  
六十才の厄年を  
一年・一年を  
御信徒の皆様へ

良くも悪くも他人のことについて噂話をしたり、愚痴を吐いたりしたことがない人は、まずいないでしょう。しかし、噂話や愚痴話をしても実際には何の意味がないもので、話をしているその時は良いかも知れませんが、結果的には自分を含めてよいことは起こりません。噂により友人関係がダメになる場合や、仕事が上手くいかなくなる場合もあるでしょう。ただ、そうだとわかつていても、会話する中でそんな話は出でます。推測に過ぎない願望、信憑性が全くない噂話や愚痴話などです。人生は有限です。益体もない話に拘らず、自分の生きる道、目的を見つけて集中することを心がけてみましょう。

自分が志したこと集中していれば周りの事など目に入らなくなり、噂話のような雑音が気にならなくなることでしょう。

新年あけましておめでとうございます。

今年は『松竹梅』の生花のご紹介からスタートします。生花正風体の一種ですが、特別な生け方が伝えられている『伝花』の二つです。

花材に使われる松竹梅のうち、松は神様の降臨を待つための植物とも言われ神聖なものとして伝えられています。竹はその節に神秘的なものが宿るとも言われ、また青々と、まっすぐに伸びる姿は健やかに成長する象徴とも言われます。梅は寒い冬に花開き、芳しい香りを漂わせる姿から慎ましく艶やかな花材として古来好まれてきました。



花材: 松、竹、梅



天狗様の御加護を願い法要が行われました

聖武帝十六年甲子行基大士  
手刻醫王像奉之名寺曰有喜  
齋矣歷年所  
後圓融帝五年震沙門俊源者  
尾以爲名嶽也始立方丈茅茨  
於京師酬俊盛法印遂迄于今  
俊源勇猛精進能奉禪事其浴  
泉嘗修十萬枚謾摩心疲假寐  
地衣笠脫背出焰火腋張而翼  
余爲何遮羅明王叔世多辟諸

# 『桑都日記』に収録された高尾山縁起(部分) 国立公文書館デジタルアーカイブ

戦国期以来の薬師如来祭祀を考えれば、この解釈には無理がある。このこととどのように理解すべきだろうか？

『新編武藏風土記稿』（文政五年・一八二三）『多磨郡之部』（文政一〇年）に収録されていることによつて世に知られてゐるのである。縁起の末尾には岩に刻んで安置するが、そうした石

現在ではす

『参考文献』猪 紀巖編著『高尾山薬王院歴代先師年譜』(大本山高尾山薬王院二〇二〇)  
おことわり 本連載では史料の引用について、適宜読みやすく原文に手を加えていきます。

ど、秀憲が飯縄大権現祭祀に注力した結果、そのことを確たるものとする手段として縁起作成を思い立つたことが考え得る。そこには、秀憲の高尾山史に対する歴史観と言ふべきものが感じ取れる。

日若舊記

秀憲の山史觀  
縁起は九世源惠による  
飯繩大権現の祭祀を述べ  
ている。このことは史実と  
しては裏付けられないが、  
源恵は高野山一心院阿光  
坊に修学し、持ち帰った  
多くの聖教類が薬王院に  
伝来しており、また、戦

秀景の歴史館  
縁起は九世

源恵による  
祭祀を述べ  
とは史実と  
られないが、  
一心院阿光  
持ち帰つた  
が薬王院に  
また、戦

国期の住持繼承にまつわ  
る書面は源惠が所持して  
いたものと考えられるな  
ど、後世、傑出した山主  
として認識されたことに  
は一定の説得力がある。

現を崇拜する一団による教線伸長の痕跡と考えるならば、以前にも述べた推論であるが、秀憲が飯繩信仰を醍醐寺から堯秀が下向する以前における、周辺地域における信仰の古態として認識していた可能性がある。それ

て、南は壊（土）

碑のあつた記録はない。一二〇〇字を越える文面には、現存する清滝開創の碑（七五文字）よりはるかに大きな巨岩が必要で、現実的なものとは思えない。

『風土記稿』は「当山の縁起とて寛延中に書きたるあり」としているので、編者らが調査をした際には文面として確かに確認したものだろう。今日、幸いにも縁起の内容はさまざまに媒体に記録され、失われることなく後の世に受け継がれてゆくことが確信できる。

註 『風土記稿』収録の縁起末尾には「寛延三己巳年」と記されている。己巳年は同二年のことで、「三」は誤記の可能性が高い。

《参考文献》猪秀巖編著『高尾山薬王院歴代先師年譜』（大本山高尾山薬王院、一〇二〇〇）

おことわり 本連載では史料の引用について、適宜読みやすく原文に手を加えていきます。

新たに建立し、それに統  
く数次の開帳を成功させ、  
高尾山信仰を興隆に導い  
た一六世秀憲であるが、  
もう一つ見逃せない事績  
がある。それは、高尾山  
縁起の作成である。

# 寛延の高尾山縁起

もう一つ見逃せない事績がある。それは、高尾山縁起の作成である。

寛延の高尾山縁起

寺社の来歴・靈験にまつわる伝承や文章を「縁起」と言う。現在、高尾山の開創や中興について語られている内容は、寛延二年（一七四九）ないし三年<sup>註</sup>とされる縁起に拠つてある。管見のところ、その以前には法流継承の血脉や開基・中興の年次に触れた書面はあるものの、歴史を具体的に叙述したものは確認できず、縁起文としては

縁起は以下のようないくつもの内 容で構成されている。

①開基・中興の経緯  
②歴代山主の系譜と 飯縄大権現の祭祀  
③高尾山の地理と境内 諸堂宇の整備  
④徳川将軍家との関係  
⑤高尾山の開基・中興 を記した贊文

①は天平一六年(七四四)、行基が薬師如来を 祭祀して開山。しばらくの荒廃の後、永和元年(三七五)に来山し山中で修行に勤しむ俊源の夢中へ、不動明王の化身である飯縄大権現が現れ、衆生救済のため自らを祭祀するよう告げたこと。その像を刻もうと欲して果

事し、法器を授かつた事跡が特記される。そして、一六世秀憲に至つた後、飯縄大権現の祭祀について述べている。

地理は江戸との距離、西方は甲斐（山梨県）の山々が連なり、南は相模（神奈川県）に接すること、山上からは東関東の山々を眺望できること。山中には霧が立ち込め、谷には溪流が走るといった高尾山の風光が述べられる。薬師堂をはさんで大日堂・護摩堂があり、飯縄権現社・薬王院とその書院、東の峰に富士浅間社、東南の谷に雨宝陵という靈地があり、麓には山王・大宮の二社、塔頭・門徒の六ヶ寺があるとする。また、仏法僧という靈鳥

末尾の贊文は漢詩調で、開基・中興と地理を刻んだ石碑を建てる旨を格調高く謳い上げている。

起をまとめた、として辻  
祿が合う。後継である秀  
興の名を記している点に  
もそれがうかがえる。秀  
憲の寂年は天明元年（一  
七八二）、八七歳とされる  
ので、数え五六歳の引退  
であつた。縁起には「今  
の刹主に至り諸堂宇造飾  
す」とあり、山容整備の  
達成感が隠居の動機で  
あつたかもしれない。し  
かし、秀憲自身はこれを  
もつて隠棲したわけでは  
なく、秀興と手を携えさ  
らなる寺勢興隆にまい進  
することになる。

# 高尾山年代記

明治大學博物館  
外山  
徹

37

ところ、どこ  
異人が現れ、  
ノの神像を形  
の存在を記している。  
徳川将軍との関係  
三代家光時の寺領

したのである。天保四年（一八三三）の「由緒書」は秀憲の隱居年を宝曆三



## 正月限定 新春特別祈祷札

### 御護摩札及び御守等 郵送・宅配申込方法について

新たな年の安寧を祈る

令和五年も正月期間（一月一日～一月三十一日）限定で「令和新春特別祈祷札」を授与致します。

近年は自然災害や疫病の流行等、様々な災厄が頻発する時代であります。しかししながら、年が改まり心機一転する正月を迎えるにあたり、種々の災いが少ない、明るい一年となるようになると、特に御祈願申し上げる次第であります。御信徒の皆様方におかれましては、この機会に是非御来山を頂き、新たな年の安寧を共にお祈り下さいます。

ご祈祷料は「**一体三萬円**」となります。

願意（お願い事）は「**除災開運**」のみとなります。

御来山当日でのお申込みも可能ですが、正月期間の御護摩受付所は混雑が予想されるため、事前にお申し込みも頂けます。また、御信徒様各位の御都合により高尾山へ御来山頂けない方の為に宅配でのお取り扱いもいたしておりますので、ご希望の方は下段の記事をご参照下さい。

ご参考下さい。

**TEL** ○四一一六六一一一五  
**FAX** ○四一一六六四一一九九

お電話やFAXにてご連絡を頂く際には、次のように郵送御護摩係か札場係までお願いします。

御護摩札のみ  
御護摩札及び御守  
御守のみ  
札場係まで

## 令和五年 新春初詣の御護摩修行の流れとお願い 当山の感染防止対策について



### 【感染防止の基本】

- ・大本堂、各部署は常時換気の徹底。
- ・境内各所の定期巡回及び消毒を実施。
- ・消毒液の設置（手指の消毒にご協力を願います）。
- ・自宅での検温とマスク着用の徹底をお願いします。
- ・体調が優れない時にはお詣りをお控え下さい。

### 【大本堂内での対策】

- ・靴袋をご持参下さい。
- ・堂内での私語はお控え下さい。
- ・堂内への入場は定員の半分程度までと制限します。

### 【坊入りについて】

・例年、七日まで行つてゐる新年の御挨拶（おとそ膳）は本年も中止と致します。

### 【御護摩受付所・信徒休憩所】

- ・信徒休憩所のご利用はご遠慮下さい。
- ・三十一日（大みそか）から一日（元日）の明け方までは客殿にて休憩頂けます。
- ・御朱印及び健康登山押印は御護摩受付所にて授与致します。
- ※御参拝できない方には郵送や宅配にて、御護摩札、縁起物、御守りを授与致しますので、13pの下段記事をご参照下さい。
- 御信徒の皆様にはご不便をお掛け致しますが、何卒御理解と御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。
- 御質問等ございましたら左記までお問い合わせ下さい。
- 尚、今後の感染状況により、対策等が変更になる場合があります。

大本山 高尾山薬王院 信徒部 TEL ○四一一六六一一一五



当山では昨年に引き続き各種感染防止対策を実施致します。



尚、毎年十二月十日までに、一万円以上を御奉納頂いた方のお名前を、翌年より掲示させて頂いております。

私達は信仰心と共に大自  
然を守り、また大自然か  
ら守られつつ共存共榮  
し、今日の景観を造りあ  
げてきたということを、  
忘れてはならないと思  
います。

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行をお勤めしております。

御護摩修行とは、護摩木という特別な薪を大導師が御護摩の炎の中に投げ入れ、あらゆる煩惱を焼き淨めるために行われます。そして、御信徒の皆様の祈りが御本尊に届けられ、皆様の諸願が成就するという修行であります。

御護摩修行を行つた方には、御護摩札が授与されます。

大切にお持ち帰り頂き、御供物と共に清浄な場所に奉安礼拝して、一心に御宝号「南無飯縄大権現」とお唱え下さい。

## 御護摩修行のおすすめ

皆様の諸願成就を祈願する

高尾山薬王院の御護摩札									
交通安全 (ステッカー) (車内用札)		室内安全 高尾一郎殿		室内安全 高尾五郎殿		室内安全 高尾八郎殿		室内安全 高尾太郎殿	
(小) 巾5.5×長12.5cm	最大巾8.0×長35.5cm	最大巾8.5×長37.7cm	最大巾9.5×長42.3cm	最大巾12.0×長48.5cm	最大巾12.0×長54.5cm	最大巾12.0×長60.5cm			
(大) 10,000円 (中) 5,000円 (小) 3,000円	お 護 摩 3,000円以上	お 護 摩 5,000円以上	お 護 摩 10,000円以上	特 別 大 護 摩 30,000円以上	開 帳 大 護 摩 50,000円以上	特 別 開 帳 大 護 摩 100,000円以上			
※お供物はつきません	高尾山 御護摩札	御護摩札 高尾次郎殿	御護摩札 高尾五郎殿	御護摩札 高尾八郎殿	御護摩札 高尾太郎殿	御護摩札 高尾山	御護摩札 高尾山	御護摩札 高尾山	御護摩札 高尾山
お 護 摩 の 願 事	併願(二願意)は一万円 より受け賜ります。	お願い事は一体一願意と します。	お 護 摩 の 願 事	入学成就(入)	安産成就(安)	良縁成就(縁)	当病平愈(病)	身体健全(体)	厄除(厄)
お 護 摩 の 願 事	併願(二願意)は一万円 より受け賜ります。	お願い事は一体一願意と します。	お 護 摩 の 願 事	御 礼(礼)	心願成就(心)	奉納杉苗(杉)	開 運(開)	身上安全(身)	災難消除(災)
事 業 繁 昌(商)	交 通 安 全(車・交)	神 涼 用 木(木・交)	交 通 安 全(車・交)	事 業 繁 昌(事)	家 内 安 全(家)	商 業 繁 昌(商)	事 業 繁 昌(事)	家 内 安 全(家)	家 内 安 全(家)

健康登山者投稿作品 ■

八王子市 栢谷玲子 様



# 一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

十二段 「やってみる」勇気を持つ

新しいことというのは前例がないことで不安が生まれるのも当然です。それでも前に進むためには、勇気をもって取り組みましょう。そして本当にダメだと思ったらやめてしまっても良いのです、「やめる」勇気もまた大切です。

頂いたお話や作品を、『高尾山報』に掲載させて頂いております。

その他、おもしろい体験・変わった出来事・ポエム・俳句等どんなお話を結構です。是非お聞かせください。御協力宜しくお願ひ致します。

※ 投稿頂きました作品は全て掲載できるよう努めますが、当山の判断で掲載しない場合もあります。また、多くの方に投稿頂きました場合、掲載までお時間を頂く場合がございまることを御了承下さい。



裏面……七百円  
スタンプ…百円

## どんど焼き

今月の風物詩

◎健康登山の皆様へ

## 『高尾山健康登山の証』 のお勧め

高 尾 山 季 節 散 歩 暦 の 言 葉 「 七 十 二 候 」

「にわとりはじめてとやにつく」  
一月三十日～二月三日頃

この「乳」とは、鳥が卵を産む  
という意味で、春の到来を感じた  
にわとり  
鶏が卵を産み始める時期です。

現在では養鶏技術の発達で年間  
を通して鶏卵を簡単に手に入れる  
ことができますが、本来鶏の産卵  
期は春から初夏にかけてです。

今月の風物詩  
どんど焼き

◎ 健康登山の皆様へ  
高尾山報投稿の御案内  
御護摩受付所では、皆さまの『健康』に関する思いや思い出・習慣、又は『健康登山』を通じて経験した出来事などの、心温まるお話を聞かせて、頂いています。

『高尾山健康登山の証』  
のお勧め  
年間約二百八十八万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。  
登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、いまでは約五万人の方々が会員となられています。  
期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみください。  
また、一冊に付き二十分回スタンプを押すページがあり、終了したこと満行と言います。満行されますとお祝い膳として、精進料理の御接待や健康登山者限定の記念品などと交換もできます。

# 高尾山節分会追儺式参加申込の御案内

令和五年 癸卯(みずのとう)

二月三日(金)

歳男・歳女 修行時間

第一回	午前七時半
第二回	午前九時
第三回	午前十時半
第四回	正午
第五回	午後一時半
第六回	午後二時半

尚、修行時間の三十分前、もしくは、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。もし時間に間に合わない場合は次回の修行時間にお入り頂きますので、何卒、ご了承下さいませ。

高尾山恒例の節分会(豆まき式)を、二月三日、身上安全、事業繁榮、諸縁吉祥、除災開運等の祈願をこめて開催致します。  
御信徒の皆様には、歳男・歳女に参加されますよう御案内申し上げます。

冥加料(祈祷料)三万円

お問い合わせ 高尾山節分会係  
電話〇四二(六六二)一一一五

## 高尾山の昆虫

### アオカミキリ

シリーズが長期化になついても、新年号はまた格別で、取り上げる昆虫は華のある種から選出したい。こう誰も感じると思います。

昆虫の宝庫である高尾山のこと、リストアップには困らないのですが、

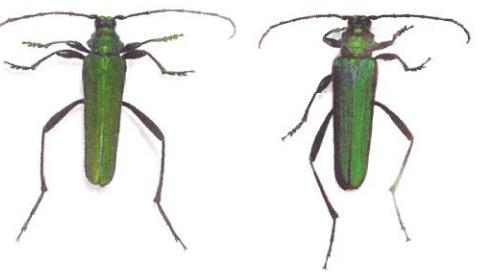
満を持して温めていた美麗種、それがアオカミキリです。

金緑・青藍系の金属光沢を持つ大型種で、上翅はざらざらした質感を備え、(角胸青天牛)の異名を持つように肩幅があり、前胸は細かな隆起を有し黄金色を発するこども素晴らしいです。

この仲間の特徴として、オスの触角と後肢の異様な長さがあります。ところがアカカミキリの場合はオスメスの判別がとても難しく、触角も後肢も程よい長さであることが分かります。

幼虫はカエデの生木を食し育ち、イタヤカエデが多い高尾山ですので本種にはいい環境だと思いますが、意外に出会う機会は左程多くありません。そのくせ灯火に飛込んで来て驚かせたり、イタズラ好きな面があるようです。

(撮影・文 松島孝)



## 高尾山火渡り祭 (令和五年三月十二日 日曜日)

### 柴燈大護摩供御壇木特別志納御案内

#### 火渡り祭「なで木」の功德

當山では毎年三月第二日曜日に春を招く恒例行事として、祈祷殿火渡り本尊ご寶前にて、高尾山修驗道による火渡り祭が盛大に執り行われます。

火渡り祭とは、高尾山主大導師のもと、全国各地の靈山で修行を重ねた山伏が、一心に諸願成就の祈りを捧げる、関東屈指の大祈祷法要であります。

この淨行にあたり、御信徒の皆様方より柴燈大護摩供にて供される、御本尊・飯繩大權現様の功德を頤す御壇木のご志納を一本一萬円にて募つております。

ご信徒の皆様、並びにご講中の講員様方におかれましては、高尾山の淨行に大いなるご信助を賜りますよう、謹んでお願いを申し上げる次第でございます。

尚、ご志納の証として、ご芳名を薬王院参道に一年間掲示致します。御志納方法についての詳細は、高尾山薬王院信徒部までお問い合わせ下さい。

#### お知らせ

高尾山では、御壇木御志納の申し込みを、お電話・

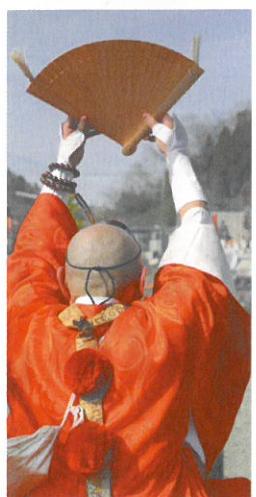
FAX ○四二六六一一二二五  
大本山 高尾山薬王院 信徒部



なで木料 一座二百円

祈大願成就 身体健全

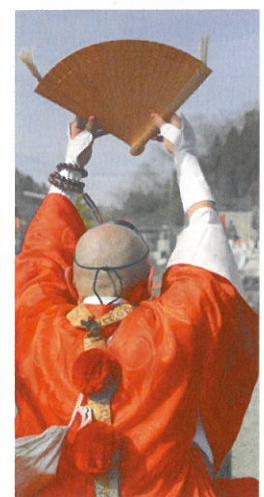
高尾 登



「払込取扱票」でお申し込みを頂く際に、願意（お願い事）が未記入でご連絡がつかない場合、「身体健全」とさせて頂きます。

また、火渡り祭の時にお名前を読み上げますので、フリガナの記入もお願い致します。

尚、「払込取扱票」は、高尾山報助成金の振替にもご利用いただけます。



「払込取扱票」でお申し込みを頂く際に、願意（お願い事）が未記入でご連絡がつかない場合、「身体健全」とさせて頂きます。

また、火渡り祭の時にお名前を読み上げますので、フリガナの記入もお願い致します。

尚、「払込取扱票」は、高尾山報助成金の振替にもご利用いただけます。





亥と卯の干支張子・卯

作・中島 俊介（札場勤務）

<b>春の行事</b>	<b>初詣迎光祭</b>	<b>新年特別開帳</b>	<b>大護摩供奉修</b>	<b>釈尊涅槃会</b>	<b>火渡り祭</b>	<b>滝開き</b>	<b>春季大祭(稚児練行)</b>	<b>初甲子(福德大黒天祭)</b>	<b>節分会(厄除開運の豆まき)</b>	<b>一月六日(金)</b>	<b>二月三日(金)</b>	<b>三月十二日(日)</b>	<b>四月一日(土)</b>	<b>四月八日(土)</b>	<b>四月十六日(日)</b>

# 謹賀新年

令和五年

癸卯(みづのとう)

大本山 高尾山



★正月期間中は御護摩受付所や大本堂周辺は、大変混雑致します。  
お昼前後の御護摩修行には大勢の御信徒様が集中することが予想されますので、密集を避けるためにも、時間を調整しての御来山をお勧めいたします。

	元日 (日)	2・3日 (月)・(火)	4~6・21日 (水)~(金)・(土)	7~9・22日 (土)~(月)・(日)	10~13・29日 (火)~(金)・(日)	14・15日 (土)・(日)	16日以降 土曜・平日
午前	0:00						
	1:30						
	3:00						
	4:30						
	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
	7:30	7:00					
		8:00		8:00		8:00	
	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:30
	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	
	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00
午後	0:00	0:00	0:00	0:00	0:30	0:00	0:30
	1:00	1:00	1:00	1:00		1:00	
	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00
	3:00	3:00	3:30	3:30	3:30	3:30	3:30
	4:30	4:00					

発行所 東京都八王子市高尾町2177 大本山 高尾山薬王院 郵便番号 193-8686 電話(042)-661-1115㈹ FAX(042)-664-1199	高尾山薬王院 ホームページ <a href="https://www.takaosan.or.jp">https://www.takaosan.or.jp</a>
発行人 大山秀康 編集人 菅井倫浩 印刷 ヒラツカ印刷社 毎月1回1日発行 1部50円	下記QRコード からもアクセス できます



二月行事日程	一日・七日 聖天秘供(聖天堂) 四日・十六日・二十八日 弁天様御縁日
	八日 仏舎利詣り(仏舎利塔)
	二十日 飯糰様御縁日
	二十五日 神徳報謝百味飲食供
	二十六日 月例写経会 (十三時山麓不動院)
	二十七日 高尾山とんとんむかし (十二時半山麓不動院)
	二十八日 奥の院開扉供養(十時奥之院)